

第63回大竹市医師会定時総会

第63回大竹市医師会総会は平成30年6月7日午後6時30分より、大竹会館において開催された。

豊島博幸議長による開会宣言の後、佐川広会長が以下のように挨拶された。

「医師会長に就任して2年が経過しました。この2年間無事に過ごすことができたのも先生方のおかげであると感謝いたします。大竹市医師会には医療に関する問題が山積しています。まず、105人という少ない会員で大竹市民の健康を支えることです。これまで以上に医師会員の協力が欠かせません。また、地域医療を支えるために大変ご尽力していただいている広島西医療センターには多大なバックアップをいただいております。これまで以上に連携をしていきたいと思っております。もうひとつは、本年4月の介護報酬改定がありましたが、プラス改定とはいえ加算が中心であり医師会事業所の運営状況は改善していません。今後ともしっかりとした展望をもって経営状況を改善していきたいと思っております。さて、議事の第6号議案として、死体検案協力があります。特定の医師に過重が掛からないように、医師会として取りまとめていきたいと思っております。よろしくお願いたします。」

佐川広会長挨拶の後、会員総数105名中、出席者25名、委任状提出者69名、計94名で定款の定めるところにより会員総数の過半数に達したことから、総会の成立が豊島博幸議長により宣言された。

次いで議事録署名者に山下久幾先生、神原辰徳先生が指名され議事に移った。

第1号から第2号議案は平成29年度大竹市医師会事業報告および平成29年度大竹市医師会会計決算について説明がなされた後、坪井信治監事より監査報告があり、挙手多数により原案通り承認された。

第3号から第4号議案は平成30年度大竹市医師会事業計画および平成30年度大竹市医師会会計予算について説明がなされた後、挙手多数により原案通り承認された。

第5号議案は医師会事業所に関する定款変更についてであった。定款変更について説明がなされた後、挙手多数により承認された。

第6号議案の死体検案協力について。説明があった後、挙手多数により承認された。なお、概要は以下の通りである。・65歳以下の医師会員は週番表の主・副の順番で、担当週には警察署から協力要請の電話連絡が発生する可能性がある。（広島西医療センター及び公的病院・医療機関に所属する会員を除く）・協力要請の電話連絡を受けた医師会員は、特別な事情がない限り電話対応をし、可能な範囲で死体検案（検視立会）に協力する。（別業務や体調、家庭事情等で困難な場合は断ることが可能である）

第7号議案は大竹市医師会役員並びに正副議長及び広島県医師会代議員・予備代議員の改選について。医師会長選挙は立候補が一名だけで他に立候補推薦はなく、定款の定めるところにより本会に諮り、佐川広先生が出席者の全員一致により次期会長に決定した。その後、副会長、理事等の新役員が指名され、承認された。

総会終了後、懇親会が開催された。

